ユキワ精工 ユーザー訪問

アリオテクノ（兵庫県尼崎市）

「スピード・ローコスト・ハイクオリティ」を備える精密機械加工のエキスパート企業

新規設備のコンパクトMC4台に『スーパーG1チャック』を本格導入

ステンレス加工時の「静音ぶり」に驚き

「やれるもんなら、やう」の日本実験棟に、「やってみな」―は昨年、空調システムの吹出部流行語大賞を受賞したテレビドラマの主人公の仇役が吐いたセリフだが、「真似できるなら、してみろ！」―とは、兵庫・尼崎市で「精密機械加工のエキスパート企業」を標榜するアリオテクノのモットー。

尼崎市で1970（昭和45）年の創立後、約30年間は隣接する伊丹市を拠点としていた（旧・伊丹精密工業）が、2000年に現所在地の尼崎市南初島に移転。大阪・豊中事業所（設計・組立）、タイ工場（2012年設立）、ほか関連会社2社を持つ。

同社が得意とするのはミクロン単位の精度が要求される精密部品の製造。主に、放射線量計測関連機器や医療機器、航空機部品、顕微鏡システム、超真空機器部品、通信機器部品といった分野で多くの実績と信頼を築き上げてきており、主要取引先にはパナソニックヘルスケアをはじめ、大手企業が名を連ねる。

また、ISS（国際宇宙ステーション）「きぼ」カー（A社）では、この最新型は「全部、日本製にしてみよう」となったとの後日談も。

同社製造部製造1課の関本光生氏はこう続ける。

「海外でつくられていたものは、ケース入りの外観での見た目はキレイ。だが、開けて実際に手にすると、表面がツルっとしていなかったり、実は『見えない』キズ、打痕が多々あり、その部分を端末本体にはめ込むと、本体自体が傷ついてしまった…などと聞いた。しかし、当社が手掛けたものは、もちろん、そういったことは限りなく皆無。むしろ、ケースから出した瞬間に『コレ、どうや！』と言える感じに仕上がっている」。

海外といえば昨年夏、同社では本社工場からタイ工場へ、ブラザー工業製CNCタッピングセンター3台の移設が行われた。代わって本社工場には、同じくブラザー製のコンパクトマシニングセンターが4台（新ブランド「SPEEDIO」S700／X1を2台など）が新規設備された。

同社加工品サンプルの展示

それに付随しての本格導入となったツーリングシステムが、ユキワ精工の『スーパーG1チャック』だった。

ちなみに、4台のインデックステーブルもユキワ製が装着されており、図らずも、最新型スマートフォン用バンパーの加工精度、面粗度の良さに、ユキワブランドが大きく寄与することになった。

特に「以前から少しづつは購入していたが」というスーパーG1チャックに対しては、まず「削っているときの『音』が違う。特にステンレス加工時の『静音ぶり』には目を見張るものがある。『本当に削って…る…の？』と錯覚するほど」と高評価。

また従来から使用中の他社メーカーのチャックが「4割ほど値上がり」したことも手伝い、「それならスーパーG1チャックのほうが断然良い。『新しい機械に、新しいチャックを』となった」。

「平らな外径頭部の斜面形状が肝。バリが出る気配がない」

さらに「コレット」について強調する。

「従来使用していたタイプが劣化していたのか、締め過ぎるとバリが発生し、精度が落ちる可能性がある」と判断。そこで目に留まったのが新製品『SGクーラントコレット サイドスルー』だった。

より少ない油量で加工部へピンポイントにクーラントを噴射するG1チャックシリーズ（スーパー、ハイブリッド、グリーン）用のコレットで、その外径の「形状が肝」だと、こう言及する。

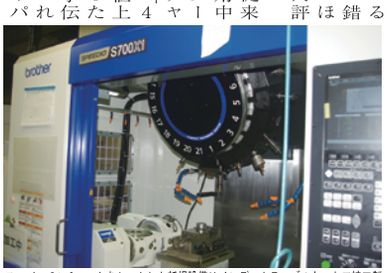
「バリが出る気配がない」形状を評価するSGコレット

「従来品ではコレット外径頭部の斜面が角ばっていたため、ナットを締めるとカエリが発生したが、SGコレットはこの角がストレートなため、カエリが発生しにくいのではないか。とにかく『平ら』な形状が気に入った。しばらく使ってみて『バリが出る気配がない』。またコレット自体に溝があり、刃物に添ってクーラントが噴射されるので、回転速度にもよるが、刃物に油がまとわりつき『いい感じ』に干渉」してくれる。これによりチャック自体の寿命が10年、いや20年もつかもしれない」。

同社では現在、スーパーG1チャックを約60本を購入するに至っているが、最初のサンプル提供は約3年前、そのときは発売間もない頃の『グリーンG1チャック』だった。

「ユキワさん自身の『自分たちはマニアックな製品、ほかにないものをつくっている』という自覚に、刃物管理、機器・設備の購買担当である私が引き寄せられた」と関本氏。

市場のニーズは「スピード・ローコスト・ハイクオリティの三大要素を備えなければならない」とする同社の精密機械加工への追求にとっては心強い存在だ。



スーパーG1チャックをセットした新規設備はインデックステーブルもユキワ精工製

GOOD DESIGN AWARD 2012
特別賞 グッドデザイン・ものづくりデザイン賞受賞
中小企業庁長官賞

速くキレイに削れるecoなホルダ

精度をとことん突き詰めると、コレット式に辿り着く

ツーリングシステム
グリーンG1チャック

YUKIWA ユキワ精工株式会社

本社・工場／〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111（代） FAX.0258-81-1112
営業所／東京、名古屋、大阪、中国（上海）、U.S.A.
http://www.yukiwa.co.jp/
グリーンG1チャック 検索